

2018年3月、アメリカ穀物協会は7年目となるトウモロコシ輸出貨物品質レポートを公表しました。このレポートは2017/2018年の輸出貨物サンプル全体の平均値が、すべての等級要件について全米No. 2等級以上の格付けに相当していたことを示しています。全米平均の品質要件についての調査結果の要点は以下の通りです：

輸出貨物の等級要件と水分

- **容積重**の平均(57.4ポンド/ブッシェル、73.9キログラム/ヘクトリットル)は2016/2017年と同水準だった。約84%のサンプルは米国No. 1等級の下限以上であり、全般的に品質が良かったことを示している。
- **破損粒と異物(BCFM)**は2016/2017年および過去5年平均と同水準(2.9%)で、米国No.2等級の限界値を下回っていた。BCFMは、収穫地から輸出地点までの間に0.8%から2.9%に、市場流通により上昇したと推測される。
- **総損傷**の平均値は2016/2017年より低かった(1.9%)。大部分(98.1%)のサンプルは米国No. 2等級の上限以下であった
- **熱損傷**は無視できる程度で、トウモロコシの市場流通全体を通じた乾燥と保存が良好に管理されたことを示している。
- **平均水分含量**(14.4%)は2016/2017年より若干高かったが過去5年平均とは同水準だった。

輸出貨物の化学組成

- **平均タンパク質含量**(乾物ベースで8.6%)は2016/2017年および過去5年平均と同水準であった。
- **平均デンプン濃度**(乾物ベースで72.1%)は、2015/2016年をやや下回り、過去5年平均より下回った。
- **平均油分濃度**(乾物ベースで4.1%)は、2016/2017年および過去5年平均を上回った。

輸出貨物物理ファクター

- **ストレスクラック**の平均値(9%)は、2016/2017年を上回り、過去5年平均をやや下回った。輸出時サンプルの大部分(84.0%)はストレスクラックが15%未満であった。
- **ストレスクラック指数**の平均値(22.4)は、2016/2017年を上回り、過去5年平均をやや下回った。2016/2017より2017/2018年のSCIおよびストレスクラックの割合が高いは、収穫時の平均水分が高いことが一部原因である可能性がある。
- **平均の百粒重**(36.07グラム)は、2016/2017年および過去5年平均を上回り、2017/2018は昨年と過去5年平均よりも大きな穀粒を示している。
- **平均の穀粒容量**(0.28立方センチメートル)は、2016/2017年、過去5年平均を上回った。
- **平均の真の穀粒密度**(1.287グラム/立方センチメートル)は、2016/2017年をやや上回ったが、過去5年平均と同水準だった。
- **平均の全穀粒**(84.4%)は、2016/2017年および過去5年平均を下回った。
- **平均の硬胚乳**(81%)は、2016/2017年を上回ったが過去5年平均をやや下回った。

輸出貨物のマイコトキシン

- 試験したすべての輸出サンプルの結果について、米国食品医薬品局(FDA)のアフラトキシン規制レベル(20ppb)より低かった。検出レベルの**アフラトキシン**を持たない輸出サンプルの割合は、2016/2017年を下回った。
- 試験したすべての輸出サンプルの結果について、**DON**(デオキシニバレノール、ポミトキシン)は米国食品医薬品局(FDA)の勧告レベルの5ppm未満であった。検出可能レベルのDONが検出されないサンプルの割合は2016/2017を上回った。

¹過去5年平均(5YA)は、2012/2013, 2013/2014, 2014/2015, 2015/2016, 2016/2017, 年のトウモロコシ輸出時品質レポートでの、品質ファクターの単純平均を表している。



**U.S. GRAINS
COUNCIL**

<http://www.grains.org>

Phone: 202-789-0789 Fax: 202-898-0522

20 F Street NW, Suite 600, Washington, D.C. 20001

VIEW THE FULL REPORT ONLINE IN EARLY APRIL

The full report will provide details on these characteristics and the tests used to assess them. Please visit www.grains.org in early April to view the report in its entirety.

ABOUT THE U.S. GRAINS COUNCIL

The U.S. Grains Council is a private, non-profit partnership of farmers and agribusinesses committed to building and expanding international markets for U.S. sorghum, barley, corn, and their co-products, including ethanol. The Council is headquartered in Washington, D.C., and has 10 international offices that oversee programs in more than 50 countries.